

名張市学校施設の現状と課題

平成 29 年 2 月 8 日

名張市教育委員会

1 空調設備

近年の地球温暖化等により、7月、9月でも教室内の気温が35℃近くになる日が増え、快適な学習環境の確保が大きな課題となっています。

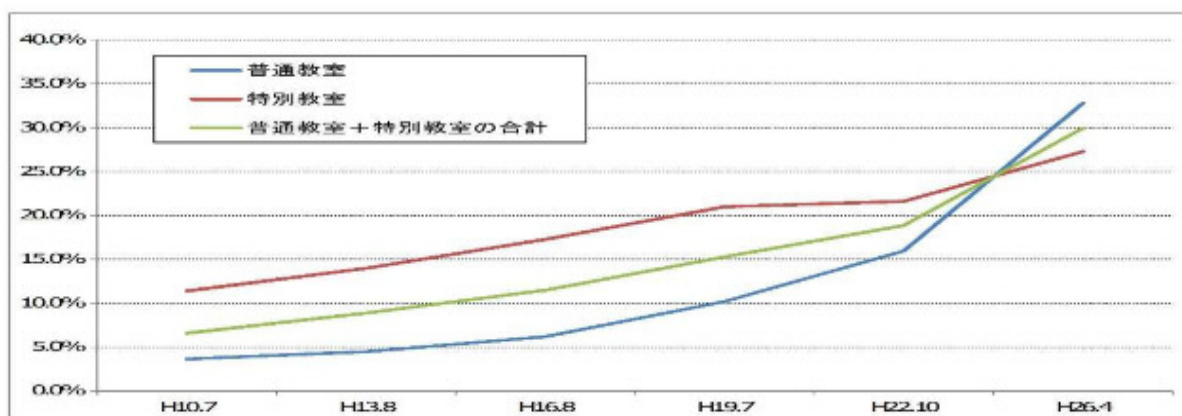
全国の公立小中学校の空調（冷房）設備設置状況（文部科学省調べ）においては、普通教室への空調設備設置率が平成22年度16.0%に対し、平成26年度32.8%となっており、全国的にも普通教室への空調設備の設置が進んでいることから、本市においても対応が急がれます。（資料1）

また、本市教育委員会の独自調査では、2016（平成28）年度の1学期の授業中に「暑さにより体調不良を訴えた児童生徒の割合」は、小学校で全児童の15.8%、中学校では全生徒の28.3%にのぼることが判明しました。

児童生徒の快適な学習環境確保の観点からも、空調設備の設置は本市においても喫緊の課題です。

（資料1）

公立小中学校の空調（冷房）設備設置状況の推移
（平成10年度～平成26年度）



	H10.7	H13.8	H16.8	H19.7	H22.10	H26.4
普通教室	3.7%	4.5%	6.2%	10.2%	16.0%	32.8%
特別教室	11.4%	14.0%	17.3%	21.0%	21.6%	27.3%
普通教室-特別教室	6.6%	8.9%	11.5%	15.3%	18.9%	29.9%

2 中学校給食

中学校給食の導入につきましては、本市では次のとおり取り組んできました。

- | | |
|--------------|--|
| 平成 14 年 11 月 | 「名張市学校給食システム検討委員会」を設置 |
| 平成 16 年 3 月 | 「小学校給食の民間委託に関する検討会報告書」が提出される
教育委員会は、「名張市小学校給食業務の民間委託に関する基本方針」を策定 |
| 平成 16 年 9 月 | 百合が丘小学校を皮切りに、小学校給食業務の民間委託を実施
〔現在 6 小学校で実施：名張・美旗・桔梗が丘・つつじが丘・梅が丘・百合が丘小学校〕 |
| 平成 16 年 11 月 | 「中学校における昼食に関するアンケート」を実施 |
| 平成 17 年 2 月 | 「中学校給食に関する検討結果の報告書」が提出される
→中学校にも完全給食の必要性は認められるものの、課題も多く、また、財政運営面からみても早期に実現させることは困難と思われます。しかしながら、現実には家庭から弁当を持ってこられない生徒のための昼食対策も必要です。 |
| 平成 17 年 3 月 | 「中学校における昼食対策に関する実施方針」を策定 |
| 平成 17 年 11 月 | 全中学校で注文による宅配弁当を実施 |
| 平成 27 年 7 月 | 「名張市中学校昼食のあり方検討委員会」を設置 |
| 平成 27 年 9 月 | 「中学生の食生活と昼食に関するアンケート」を実施
対象：全学年（各学年 2 クラスを抽出）の生徒及び保護者、
中学校教職員 |
| 平成 28 年 3 月 | 「中学校昼食のあり方についての意見書」が提出される |

意見書では、「学習指導要領においては、学校給食は在学するすべての生徒に対して実施することが適切であるとされており、食育の観点からも、全員が同じものを喫食することが大変重要であると考えます。また、生徒に望ましい食生活のあり方を提供する手段として、委員会ではおおむね中学校給食の導入が望ましいという結論で一致しました。」

実施方式では、「いずれの方式を選択するにしても、導入にあたっては様々な課題がでてくることが想定されることから、後発という利点を生かして、また、他の自治体の状況も十分検証し、食育の推進も意識した方式を決定していくべきとの意見が出されました。」と追記いただきました。

教育委員会では、当該意見書に基づき中学校給食の導入について検討を進めてきました。

3 長寿命化計画

2015（平成27）年度末に、小・中学校の耐震補強工事を完了いたしましたが、学校施設の多くは建設後30年を経過し、大規模改修等の老朽化対策を進めていく必要があります。しかしながら、整備には莫大な費用を要するため、財政負担の軽減と平準化を図り、効率的・効果的に整備を進めていく必要があります。

今後は、名張市公共施設等総合管理計画や文部科学省インフラ長寿命化計画（行動計画）に基づき、「(仮称) 名張市学校施設長寿命化計画」を策定し、計画的な施設整備及び維持管理することが重要です。

4 児童生徒用トイレ

学校施設のトイレにつきましては、我が国の家庭の洋式トイレの保有率が9割という状況であるのに対し、全国公立小中学校の洋便器設置率は43.3%で、和式トイレで用が足せず体調不良を訴える事例もあることから、トイレの洋式化を進める必要があります。(資料2)

全国公立小中学校施設のトイレの状況調査【文部科学省調べ】 (資料2)

公立小中学校施設のトイレの状況 ※平成28年4月1日現在

- 公立小中学校におけるトイレの全便器数は約140万個であり、そのうち洋便器数は約61万個(43.3%)、和便器数は約79万個(56.7%)であった。

総合計	洋便器		和便器
		うち多目的 トイレ等	
1,397,019個	605,322個 洋便器率 43.3%	60,348個	791,697個 和便器率 56.7%